

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年 12月 19日

【評価実施概要】

事業所番号	0174100594		
法人名	有限会社 ふれ愛		
事業所名	グループホーム ふれ愛		
所在地	釧路市若竹町18 - 18 (電話) 0154-22-7941		
評価機関名	北海道社会福祉協議会		
所在地	札幌市中央区北2条西7丁目1番地		
訪問調査日	平成19年10月24日	評価確定日	平成19年12月19日

【情報提供票より】(19年 10月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 16年 7月 26日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤	13人, 非常勤 4人, 常勤換算 14人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	2 階建ての	1~2	階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	31500~35,000 円	その他の経費(月額)	10,500~21,000 円
敷 金	有(円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,102 円		

(4) 利用者の概要(10月 1日現在)

利用者人数	18 名	男性	5 名	女性	13 名
要介護1	5	要介護2	7		
要介護3	4	要介護4	2		
要介護5	0	要支援2	0		
年齢	平均 82.7 歳	最低	74 歳	最高	92 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	中田内科医院・長内歯科医院
---------	---------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所は利用者が地域に根ざした生活を送れるよう支援しており、職員が熱意を持って日々のケアサービスを実践している。また、平成18年からセンター方式にも取り組んでおりターミナルケアも経験し、より一層の知識と経験を深めている。近隣住民との交流も積極的に図られており、今後ますます地域に溶け込んだ利用者の生活が期待できる事業所である。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	<p>前回評価での課題であった事業所の運営理念の啓発について、地域との交流を深め理解を得られるよう改善に取り組んでいる。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>全職員で話し合いながら自己評価に取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>家族会代表・町内会会長・地域包括支援センター職員・小学校校長等を構成員とし、会議で防災や高齢者の保護・児童の見守り等について話し合っている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>定期的に家族会を開き話し合ったり、運営推進会議等でも家族からの意見・要望を聞いている。また、家族の来訪時に職員は積極的な声かけをし、家族が気軽に意見等を伝えられるような雰囲気づくりに努めている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内活動に積極的に参加したり、町内会班長を引き受けるなど地域との交流を深めている。また、老人クラブや近隣小学校とも日頃から接する機会が多く、地域との連携が図られている。</p>

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念の共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「ふれ愛・やさしさ・思いやり」という事業所独自の理念をつくりあげている。	○	今後、理念に地域との関係性を重視する一文を明示し、日々のケアサービスに活かすことが期待される。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	事業所の要所に理念を掲示しており、職員間で話し合いながら実践に向けて取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会の班長になったり、町内の行事に積極的に参加するなど、地域との交流を図っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員間で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議に近隣小学校校長や消防署・警察署の職員等が参加し、意見交換を行っている。また、そこでの意見を事業所の運営に活かし、サービスの質の向上に繋げている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>相談・報告等で日頃から担当者と連絡を取っており、ともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月事業所便りを発行しており、利用者の暮らしぶりや健康状態等について家族に報告している。また、利用者に変化があった場合はそのつど電話にて家族に連絡している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>重要事項説明書に苦情相談窓口を明示している。また、定期的開催されている家族会や運営推進会議にて家族から意見・要望を聞いている。さらに職員は日頃から家族とのコミュニケーションを大切にしており、家族が気軽に意見等を伝えられるような雰囲気づくりに努めている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>利用者へのダメージを防ぐため、職員の異動・離職は極力抑えるよう努めている。また、異動等があった場合はそのつど家族に報告している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部の研修に参加する機会が設けられており、職員は積極的に受講している。また、研修生や実習生の受け入れも行っており、職員の育成に努めている。月に1度、ミーティング時に研修受講後の報告をして内容の共有を図り、質の向上に取り組んでいる。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム連絡協議会主催の研修会参加や、他事業所との相互訪問等によりサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>事前に事業所を見学してもらったり、職員が利用者宅を訪問して顔馴染みになり、利用者が事業所の雰囲気に馴染んでからの入居となるよう配慮している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は利用者から調理・洗濯物たたみなどを教えてもらったり、お茶・お華の指導をしてもらうなど支え合う関係を築いている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>職員は居室や入浴時の利用者との会話だけではなく、表情や行動からも本人の意向の把握に努め、一人ひとりの希望に応じた生活となるよう支援している。</p>		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>日常生活の中から課題を見つけるとともに、利用者・家族の要望を採り入れ、定期的なケアカンファレンスを開催し、全職員で話し合いながら介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的に介護計画の見直しを行っており、家族の同意を得ながら現状に即した介護計画となるよう取り組んでいる。</p>		
3.多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>希望に応じて家族が食事や宿泊ができるよう対応している。また、地域の相談窓口として担えるよう検討中である。</p>		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>かかりつけ医への受診支援を行っている。また、利用者の希望に応じて訪問診療を受けるなど、適切な医療を受けられるよう支援している。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化・終末期に向けた指針が作成され、整備されている。また、利用者の状況に応じてそのつど家族・主治医を交えて話し合い、方針を共有している。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>職員は利用者の誇りやプライバシーに配慮した声かけや対応を心がけている。また、個人情報の取り扱いも徹底されており、適切に対応している。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者のペースを尊重し、一人ひとりの希望に応じて職員も一緒に楽しむよう支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の希望を採り入れた献立を作成し、食事の準備や後片付け等を職員と一緒にしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	時間帯や曜日などを利用者の希望に合わせて、入浴が楽しみなものになるよう支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の生活歴を把握し、一人ひとりの希望に応じた趣味や気晴らしの支援を行っている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	公園への散歩・買い物・ドライブなど、利用者の希望に応じた外出支援を行っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員は鍵をかけることの弊害を理解しており、夜間のみ施錠し日中は鍵をかけないケアに取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	年に2回避難訓練を実施している。また、運営推進会議を通じて地域や近隣小学校からも協力が得られるよう働きかけている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	職員は利用者の健康状態を把握し、一人ひとりに合わせて栄養バランスや水分量を摂取できるよう支援している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	共用空間は明るく清潔感が漂っており、音や光にも配慮がなされている。また、装飾品により季節感・生活感を感じられるよう工夫されており、利用者が居心地良く過ごせるような空間となっている。		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	居室には利用者が使い慣れた馴染みの家具・仏壇・趣味の物等が持ち込まれており、本人が落ち着いて過ごせるよう工夫している。		

 は、重点項目。